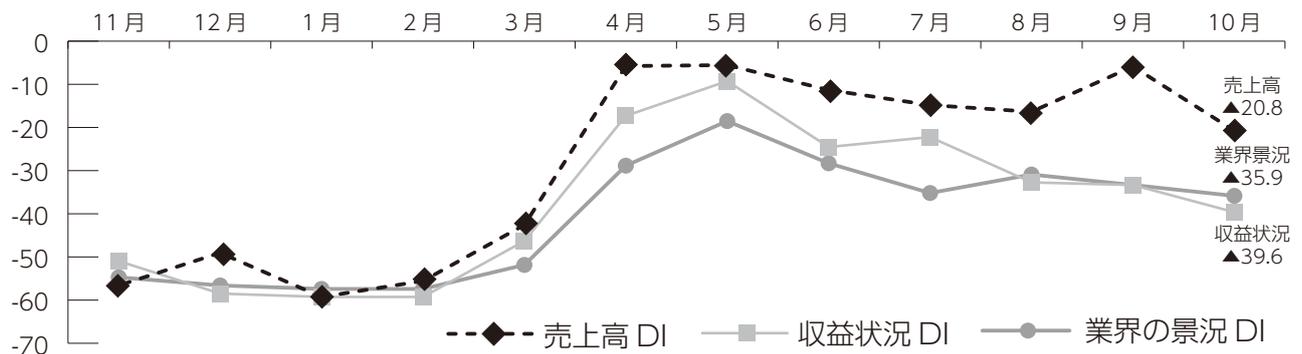


仕入コストの上昇が収益を圧迫

概況

緊急事態宣言が解除され、群馬県の警戒度も「2」に下がり、停滞していた経済活動の回復を期待。一方、原材料価格の値上がりと原油価格の高騰により仕入コストが上昇。価格転嫁が追いつかず収益を圧迫し、厳しい経営を強いられているとの声が聞かれた。

主要DIの推移（全体）



景況天気図（前年同月比）

	売上高	在庫数量	販売価格	取引条件	収益状況	資金繰り	設備操業度	雇用人員	業界の景況
全業種平均	☁️	☁️	☀️	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️
製造業	食料品	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️
	繊維製品	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️
	窯業・土石	☁️	☁️	☀️	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️
	機械・金属	☁️	☁️	☀️	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️
	その他	☀️	☁️	☀️	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️
非製造業	卸売業	☀️	☁️	☀️	☀️	☀️	—	☁️	☀️
	小売業	☁️	☁️	☀️	☁️	☁️	—	☁️	☁️
	商店街	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️	—	☁️	☁️
	サービス業	☁️	—	☁️	☁️	☁️	—	☁️	☁️
	建設業	☁️	—	☁️	☁️	☁️	—	☁️	☁️
	運輸業	☀️	—	☀️	☁️	☁️	—	☁️	☁️



天気図は、各景況項目について調査月と前年同月を比較して、DI値を基に判断したものです。
DI値 = (増加・好転) - (減少・悪化) ÷ 回答数 × 100

コメント掲示板

《製造業》

食 料 品	<p>[パン] 昨年はコロナ感染者数が落ち着き、Go Toトラベルキャンペーンの実施もあり売上が増加していたため、昨年比で売上減少となった。消費回復の足取りは重く感じる。</p> <p>[めん類] 輸入小麦の政府売渡価格が発表され12年ぶりの高値となる。原油価格の上昇に対する値上交渉も不調で収益状況は悪化した。</p>
織 維 製 品	<p>[織物業] コロナに伴う行動制限が緩和されつつあるが、繊維衣料関係の消費回復までには時間がかかると思われる。一方、展示会・販売会の来場者数は昨年並みで期待を寄せる。</p> <p>[外衣・シャツ] 外国人の新規入国制限の緩和に伴い、今後、技能実習生の往来が活気づくため、製造現場では人員配置の見直し準備が始まる模様。</p>
窯業・土石	<p>[コンクリートブロック] コロナの感染拡大に落ち着きが見られ、需要は上向く。</p> <p>[生コンクリート] 減少傾向が続いていた東毛地区を除いて、県内全域で出荷量が前年を下回る結果となった。</p>
機 械 ・ 金 属	<p>[めっき] 東南アジアのロックダウン解消による自動車関連部品の供給が再開するも、原油・金属類・薬品の値上がりで製造経費が上昇した。加えて、中国で電力使用制限による供給不足が発生したため、薬品類の更なる値上げを懸念している。</p> <p>[機械金属（大泉町）] 半導体製造装置の需要は来年末まで充足の見通しであるが、使用する部品の入手が課題となっている。造船関連では、客船に動きはみられないが、貨物向けタンカーの需要が戻りつつある。</p> <p>[自動車関連] 主要自動車メーカーの生産台数が半減したことにより、下請企業は厳しい状況におかれる。雇用調整助成金の下支えが必要。</p> <p>[機械金属（高崎市）] 売上が増加する企業が見られるも、原材料価格が高騰し収益を圧迫。</p>
そ の 他	<p>[製材] 荷動きは好調で、販売価格が上昇し、売上は増加した。しかし、原材料が不足しており設備稼働度は昨年並みであった。</p> <p>[紙製品] 青果物が天候不順の影響で高騰し、出荷量が減少。これに伴い段ボールの需要も落ち込んだ。</p> <p>[印刷] コロナの感染拡大が落ち着き売上が増加するも、コロナ前の水準に戻るのには困難。</p>

《非製造業》

卸 売 業	<p>[各種商品（太田市）] 計測機器は、コロナの感染拡大が落ち着いたため状況は好転。半導体不足の影響で入荷遅れが一部で発生するも、今後は改善される見込み。</p> <p>[再生資源] 鉄スクラップの国内価格は続伸。国内の古紙は依然として在庫が逼迫。</p>
小 売 業	<p>[燃料] 世界的に原油の需要が高まり、供給不足で仕入価格の高騰が続く。販売店は転嫁が追いつかず収益を圧迫。需要期を迎える灯油販売への影響を懸念している。</p> <p>[中古自動車] 深刻な在庫不足を背景にオークション成約額に上昇が見られる。大手も車両台数の確保に苦戦している状況。</p> <p>[家電] 緊急事態宣言が解除となるも商品の動きに活発さを感じられない。</p>
商 店 街	<p>[高崎市] 群馬県の警戒度の引き下げを受け、活気が戻りつつある。感染対策を講じながら大規模イベントも開催した。一方、飲食店では大きな宴会が少なく、苦しい状況が続く。</p> <p>[富岡市] 人通りが増えてきているように感じる。来月には大きなイベントを予定しており、準備に追われている。イベントをきっかけに活気が溢れることを期待する。</p>
サービ 業	<p>[伊香保温泉] 緊急事態宣言の解除・愛郷ぐんまキャンペーン開始を受け、客足が少しずつ動き始めた。キャンペーン効果で、週末の宿泊予約は埋まるようになった。</p> <p>[草津温泉] 宿泊予約数は増加傾向にあるが、Go Toトラベルキャンペーンが実施されていた昨年と比較すると平日を中心に予約状況は低調。</p>
建 設 業	<p>[建設] 公共工事・民間工事の停滞傾向が続く。特に公共工事においては、半期終了時点で受注量が例年を下回る企業が多数を占め、未だ受注していない企業も一定数みられた。先行きを不安視している。</p> <p>[塗装工事] 公共工事の入札件数は増加するも、民間工事の需要が減少。材料の値上げにより収益状況は悪化した。値上げ交渉の必要性も視野にいれる。</p>
運 輸 業	<p>[一般貨物運送] 燃料価格は前月比7円を超える大幅値上げで、リーマンショック前に迫る水準となり、収益を圧迫している。荷動きも低調で非常に厳しい経営を強いられている。</p>

※本調査は、情報連絡員55人の報告を取りまとめ、その概要を示したものです。